

もみじ定期便

発行者 妙義もみじ学園
広報委員会

新年度を迎えて

各地で桜の開花や見ごろのニュースが届く季節となり
周囲では鶯の鳴き声も時々聞こえています。

昨年度、男性棟の改築が承認され、急ピッチで手続きを踏み、年末から工事が着工されました。完成は令和8年3月になります。女性棟は令和3年に完成しましたが、コロナ禍であったため、多くの関係者の皆様にも見て頂くことなく現在に至っております。

コロナも第5類となり世の中もコロナに対する考え方もだいぶ落ち着いてきたように感じています。もう少し時間はかかるかと思いますが、新しい建物が完成した際には盛大にお祝いできればと願っております。

先日、完成した仮設住居に男性皆さんは引っ越しをしました。約半月が経過し、少しずつ落ち着いてきたと感じています。そして男性もすべて個室となり、居住スペースも広がったこともあり、以前よりも皆さんの動きが安定したようにも感じています。

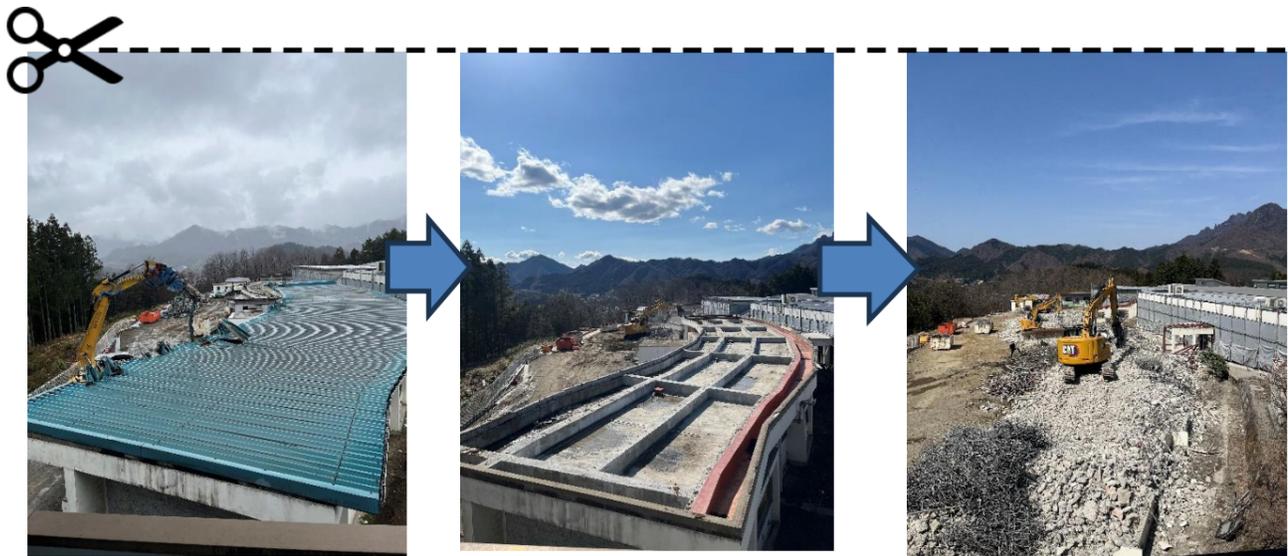
コロナの影響はまだまだ続くと思いますが、ともあれ新しい年度がスタートしました。

今年度も旅行や各行事等、皆さんの状況に合わせた形で支援を提供いたします。

また、ご家族・親族の皆様とはコロナをきっかけに少し縁遠くなってしまった感じがあります。お互いに年を重ねるとフットワークが悪くなりますが、季節行事や昔ながらの習慣等を見直し、少しでも利用者の皆さんが楽しく、生活していただける様工夫致します。

ぜひ、ご家族・ご親族の皆様には、頑張って施設生活を楽しんでいるご本人を意識していただける様な取り組みも進めて行きます。

改築が始まり、しばらくは落ち着かない生活になりますが、充実した年度となります様務めます。皆様のご協力をよろしくお願い致します。
(施設長 吉岡公明)



4月1日雨の中解体が始まりました。めりめり屋根をはがしていました。

4月4日屋根がはがされ、D棟から壊し始めました。重機にかかると、壁は段ボールのように崩れていました。

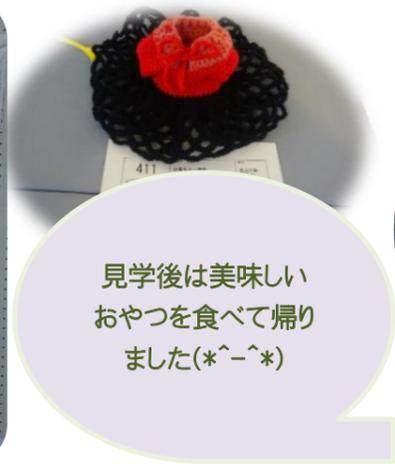
4月8日あっという間に建物がなくなりました..ちょっと寂しいですね。

〇あすなろ祭見学〇

3月7・8日の2日間で、第37回あすなろ祭がベイシア文化ホールにて開催されました。展示部門は2日間、ステージ部門は8日の午前中に実施となりました。妙義もみじ学園では、普段日中活動で制作した個人の作品やグループで協力して作成したものを合計24点展示部門へ出品しました。

展示されている作品の見学へ7日に4名の利用者さんと出かけました。群馬県内の様々な事業所から出品された作品は数多く、素敵な作品がたくさん展示されていました。各部門、賞が設定されており自分たちの作品が入賞しているかドキドキしながら見学しました。

妙義もみじ学園は、個人の絵画作品が1点優秀賞(銀賞)、その他の部門で2・4グループ共同作品と2グループの作品がそれぞれ1点ずつ特別賞(銅賞)を受賞しました。自分たちが作った作品が入賞していて、皆さん喜んでいました。記念に入賞作品と写真撮影。更には、他作品を真剣に見ながら「次は何を作ろうか、考えながら見ているんだよ」とのこと。制作することに対して、とても意欲があるのが伝わってきて、次の作品が楽しみになりました。普段、施設外の人に見てもらえる機会は少ないですが、皆さん意欲的に制作活動に取り組んでいます。これからは、広報でもご紹介していけたらと思います。
(事務 吉岡沙織)



見学後は美味しいおやつを食べて帰りました(*^-^*)

4月の主な予定 (コロナウイルス関連により予定行事等の中止・変更があります)

- (1) 職員会議 (2) 体重血圧測定 (8) 厨房清掃 (14) 歯科指導 (15) 出張理容
- (17) 防災訓練・イベント食 (24) 施設整備 (25) 春の健診・施設長部会
- (28) 摂食嚥下研究会 ※その他、各グループでお花見外出予定です。